

「木桶仕込みのしょうゆを伝える」

展開例

- **主題**…先生の願いや意図が明確になるよう 1 文で表します
- **導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- **展開前段**= 立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- **つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- **展開後段**= 主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「在り方」「見方・考え方」「意味」「なぜ大切なのか」「よさ」「態度・意欲」の観点で考えさせる
- **つなぎ発問②**…主題発問で考えたことと、子どもの生活とをつなぐような話を入れる。そして、自分との関わりで、振り返りを行うことができるように、道徳的価値を入れた振り返りの観点を説明する
- **終末**= 主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりして振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

※振り返りの 4 観点は、次のようになっていますが、ABCD によって書く観点数が異なります。

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、になりたい自分（自己実現への期待）

※これに合わせて、低中高学年別、また ABCD 別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

※すべての観点について書かせるか、先生がいくつか指示をして書かせるか、または、子どもが選んだものを書かせるか、お決めください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	伝統や文化に真摯に向き合う
導入	今日は、伝統や文化に、どう向き合っていくか考えましょう
展開前段 つなぎ発問①	○それぞれの土地に、それぞれの醤油の味があり、郷土料理の味になる。地方によって、郷土料理があることは、どうしてよいのでしょうか ○プラスチックやステンレスのタンクで大量生産される醤油よりも、木桶仕込みの醤油の方がよいのは、どんなところでしょう ○「醤油を造っているのは、ここに住む菌たち。僕は、菌たちが生きる蔵や木桶の環境を、次の世代につないでいだけなんです。先祖がそうしてきたように」先祖から伝わる木桶仕込みの醤油造りを、次の世代につなぐことに、どのような大切な意味があるのでしょうか ○日本の中で、次の世代につないだ方がよい伝統や文化は、どんなものがありますか ○受け継がれてきた伝統や文化を見て、未来の人々が、どのようなことを言うとステキでしょう
展開後段	私たちは、我が国の伝統や文化に、どのように向き合って（考え方・心構え・態度）いか

	なければならぬのでしょ
つなぎ発問②	私たちも、過去から未来への流れの中の一人として、考えていきましょう ・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか① ・①のことで、もうすでに、考えているよ、やっているよということはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか ・①のことをもとに、みんなと一緒にやってみたいことはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、どんな自分であるとステキだなと思いますか では、振り返りを書きましょう
振り返り	